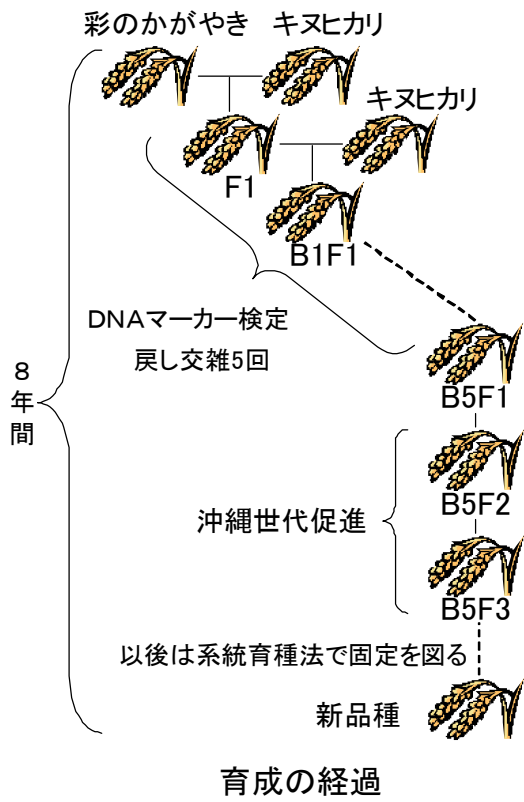


水稲新品種「キヌヒカリサイタマSBL」の育成

「キヌヒカリ」は良食味品種として、消費者などから高い評価を得ていますが、病害に弱いため、安定して減農薬栽培することが難しい品種です。そこで、この弱点を改善するため、戻し交雑育種法及び遺伝子診断技術を用い「キヌヒカリ」に「彩のかがやき」の病害抵抗性遺伝子を導入しました。この結果、縞葉枯病抵抗性を持ち、穂いもち圃場抵抗性が強く、それ以外の食味などの特徴は「キヌヒカリ」とそっくりの「キヌヒカリサイタマSBL」（キヌヒカリ縞葉枯病抵抗性・穂いもち圃場抵抗性同質遺伝子系統）を育成しました。



キヌヒカリに発生した縞葉枯病の病徴
左：キヌヒカリ、右：キヌヒカリサイタマSBL

作期	品種名	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	精玄米重 (kg/a)	同左比率 (%)	千粒重 (g)	玄米品質	米の成分(%)	
											粗蛋白質含量	アミロース含量
早植	キヌヒカリサイタマSBL	8/1	9/8	82	17.9	387	50.8	94	19.8	5.0	8.3	20.7
	キヌヒカリ	8/2	9/8	84	17.9	407	54.0	100	20.3	5.0	8.3	20.6
普通植	キヌヒカリサイタマSBL	8/18	10/2	83	18.7	372	51.5	100	20.3	5.0	9.1	20.1
	キヌヒカリ	8/18	10/2	86	19.0	412	51.6	100	20.6	5.0	9.2	19.7

生育、収穫量、米の品質の違いはほとんどありません

※本品種は平成19年4月に種苗法による品種登録申請中です。

なお、品種名の“SBL”はStripe and Panicle Blast resistanceの略です。

(水田農業研究所 育種担当 TEL 048-521-5041)